

謹賀新年

「住民協働の
元気なまちづくり」の
実現に向けて



揖斐川町長 宮 孝 生
宗 宮 孝 生

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成22年の輝かしい新春を迎え、
今年も町民の皆さんにとつて、よい
一年でありますように、心からお祈
り申し上げます。

さて合併して5年目となる昨年
は、揖斐川町におきましては大きな
災害もなく、比較的平穏な一年で
あったかと思えます。

町の重点プロジェクトでありま
す、公共交通ネットワーク、地域情
報ネットワーク、道路ネットワーク
の三つのネットワーク整備が進み、
その成果が着実に表れ、住民の皆さ
んへの行政サービスが充実してまい
りました。

平成21年度におきましては、今ま
での施策を継承しつつ「少子化対
策・定住化の促進」を重点施策と
して政策を進めております。少子化
対策といたしましては、町独自の

「すこやかベビー祝い金」や「特定
不妊治療費助成」などを継続するほ
か、本年度からは妊婦健康診査の助
成回数拡充や、「新生児聴覚検査
費」の助成を行っております。乳幼
児相談に対する体制を拡充すると
もに、「医療費助成」につきましても
乳幼児、小学校、中学校卒業まで
対象枠を広げ、子育てに関するト
ータルな支援を行い、町の将来を担
う子どもたちを、安心して産み育て
ることのできる環境づくりに取り組
んでおります。また、定住化促進と
して、新築住宅にかかる固定資産税
の町単独での減免措置や、昨年7月
からは、揖斐川町内で、平成21年4
月1日から平成24年3月31日までの
間に新築し、または新築の専用住宅
を購入し入居した方を対象に、最大
で30万円の助成を行なう「新築住宅
建設等奨励金制度」を創設し、町内
で住宅を建てやすい環境づくりを行
なっております。

これらの施策につきまして、現在

までに多くの問い合わせや申請を頂
き、その成果が初年度から確実に表
れ、住民の皆さんの行政ニーズに素
早く対応した施策が進んでいると考
えております。

このほか、次世代を担う子どもた
ちの育成や、安心して教育が受けら
れる環境の整備としまして、おじま
幼児園の改築を行なうほか、大和小
学校や清水小学校の耐震化工事を実
施するとともに、各中学校や屋内体
育施設の耐震診断も行っております。
また、国の教育指導要領の改正
に先駆けて小学校での外国語指導や
海外派遣事業など地域の特色を生か
した魅力ある教育機会や理科振興備
品の購入、学校情報通信技術環境整
備事業なども行っております。

昨年9月からは、整備を進めてき
ました「揖斐川町学校給食センター」
が稼動し、国への特区申請により幼
児園や保育園への外部搬入も行なっ
ております。幼児から中学生まで一
貫した安全で安心な給食の提供は、
子どもたちの健全な体づくりの基本
であり、できる限り地域の食材を取
り入れながら、食育の拠点として運
営を行なっております。これらの整備
は、子どもを産み育てる環境づくり

の一環でもあり、少子化対策と併せ
て、将来を担う子どもたちの人材育
成が充実してきたと考えておりま
す。また、昨年から発生し、揖斐川
町でも感染が確認されております
「新型インフルエンザ」につきまし
ても、音声告知放送やいびがわチャ
ンネルにおいて、手洗いや、うがい
の励行などについて啓発を行なうと
ともに、電話などによる相談体制を
整えるなど、多様な対応を行なっ
ております。

町の活性化の基盤であり、災害に
強い地域づくりに必要な道路整備に
つきましても、国道417号岡島橋架替
にかかる関連工事や、冠山トンネル
関連工事への着手、国道303号の(仮
称)新横山橋などの整備が進み、消
防ポンプの更新など地域防災体制の
整備と併せて「安全で安心なまちづ
くり」が進んでまいりました。

養老鉄道や樽見鉄道の存続、地帯
制ワンコインバスへの取組みを継続
する一方、重要な交通結末点である
養老鉄道揖斐駅周辺につきまして
も、住民の皆さんが利用しやすい駅
となるよう整備を進めており、昨年
自転車駐輪場が完成し、続いてトイ
レなどの整備を行なっております。

また、観光振興の一環として、揖斐駅を基点として、揖斐川の町並を通過し谷汲に至る「揖斐川町観光巡回バス」の運行も、昨年11月より実施しております。

昨年開催しました「いびがわマラソン」につきましては、参加人数を1万人として募集しましたところ、9月上旬には定員に達するという盛況ぶり、住民の皆さんのご理解と

ご協力ご支援により継続してきましたこの大会が、全国の多くの人達からご支援を頂いていると、改めて実感できたとともに「健康文化都市揖斐川町」が、全国に発信されてきたと感じております。

本年も「住んでみたい」、「住んでよかった」と住民の皆さんに言っていただけよう、第一次総合計画の実現に向けた「元気なまちづくり」

を進めてまいります。

依然として国・県の財政は、厳しい状況にあり、今後益々地方分権が推進され、自己決定・自己責任による行政経営が求められる中、住民の皆さんが安全で安心して暮らしていただけますよう、事業の見直しなどを行い、質の高い、メリハリのある行政経営を行ってまいります。

私のモットーであります「住民の

皆さんと共に考え、共に歩む、そして共に創る！」すなわち「住民協働のまちづくり」を進めてまいりたいと考えておりますので、どうか本年も、町政に対する変わらぬご支援と、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

新年のご挨拶



揖斐川町議会議長
坪井重憲

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、町議会に對しまして格別のご指導、ご鞭撻を賜り、新年を迎えることができましたことを、心か

ら感謝申し上げます、厚く御礼を申し上げます。次第でございます。

さて、長引く景気低迷のなか、景気は持ち直してきているものの依然として厳しい経済情勢であり、また、国では政権交代により政策の見直しがおこなわれるなど、本年は時代の変革期を乗り越えていく挑戦の時期であると捉えております。

このような社会情勢のなかで、本町においても、「住みよいまちづくり」に向け、克服すべき重要課題を多く抱えております。町民の皆様の負託と信頼に的確に応えるべく、日々精進し、議会の機能を十分に發揮しつつ、様々な重要課題の解決と、町の将来像である「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化

都市」の実現に向けて全力を尽くす所存でございます。

私も議会といたしましては、これからも、皆様方のご意見を拝聴しながら、本町発展のため、より豊かな「住みよいまちづくり」をめざして議員が一人となり、皆様方の信頼と期待に応えてまいりたいと存じます。

どうか、本年も町議会に對し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、町民の皆様方にとって今年も健康で明るく幸せで、大いなる飛躍の年となりますことを議員一同心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

